

Cet、R Cet

古城 宏明

前回に引き続き、今回も変光星の話。

今春から夏にかけての天候不順にはまいりました。おかげで月に0回~1回という非常に低い観測頻度となり、ほとんど活動できなかつたのが実情でした。それでも秋口からいくらか持ち直してきたのは良い傾向ではないでしょうか。(それでも例年より雲が多い?) そんな中で観測できた変光星を紹介したいと思います。それが、表題の Cet と R Cet です。ともにくじら座の変光星です。

Cet は“ミラ”と呼ばれているので、ご存じの方は多いと思います。脈動変光星の代表的な存在で、このグループをミラ型変光星(M型)と呼んでいます。R Cet もミラ型の変光星です。ちなみに、くじら座はどこにあるか分かるでしょうか。おうし座の西側、おひつじ座の南側といったところでしょうか。後項に変光星の位置と併せて星図を載せました。ふだんあまり見る機会がないかもしれませんが、たまには目を向けるのも良いかもしれません。系外星雲が意外と多いところでもあります。(代表:M77)

変光星の要素は下記のとおりですが、周期は過去の平均、変光光度は過去最大光度と最小光度を表しているのので、毎回この要素通りではありません。最大光度は暗めになることが多いようです。

各々の AAVSO D チャートも載せておきます。このサイズが現在の望遠鏡直焦点画像と一番マッチしているようです。

Cet

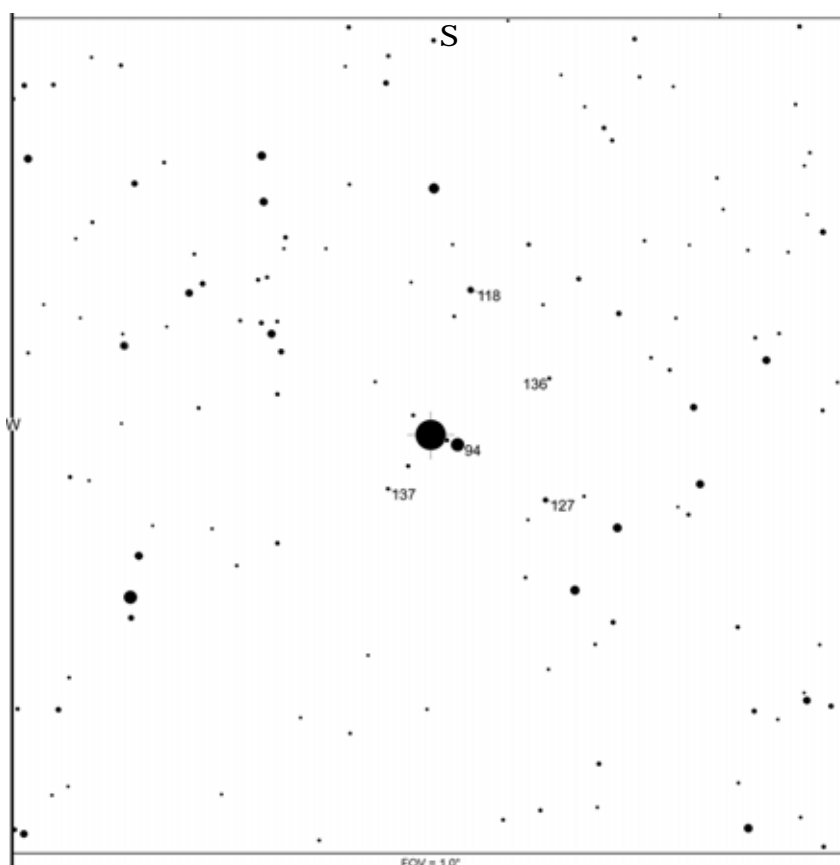
赤経 2h19m20.79s

赤緯 $-2^{\circ}58'39.5''$

(2000年)

変光光度 2.0 - 10.1 v

周期 331.96日



R Cet

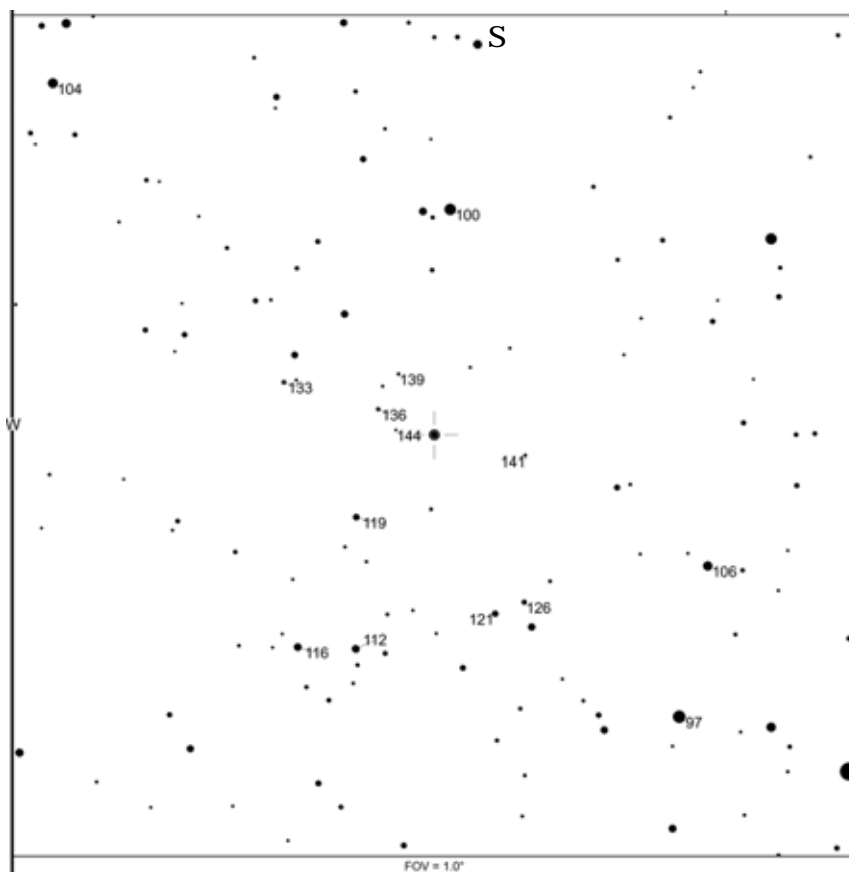
赤経 2h26m2.31s

赤緯 $-0^{\circ} 10' 41.8''$

(2000年)

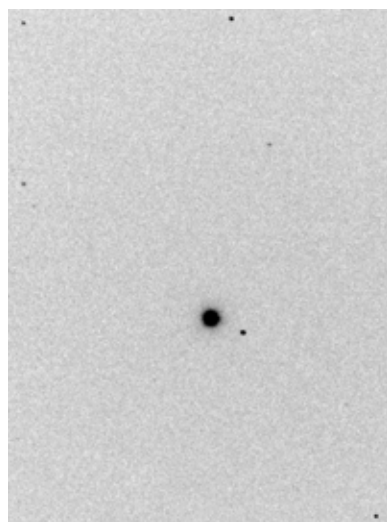
変光光度 7.2 - 14.0v

周期 166.24日



Cet と R Cet は共に 9月7日から観測していますが、前述の通り天候に恵まれず、2週間おきという目安をたてていたのですが結果的には約1ヶ月おきということになってしまいました。わずか3ヶ月間ですが、さいわいにして変光している状況が分かると思います。

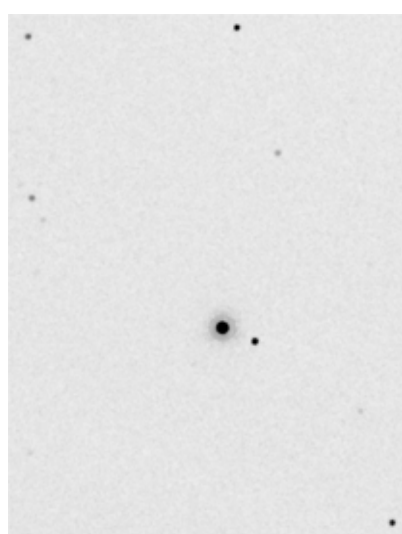
Cet 観測写真 (上が南)



2011年9月7日

23h5m30s

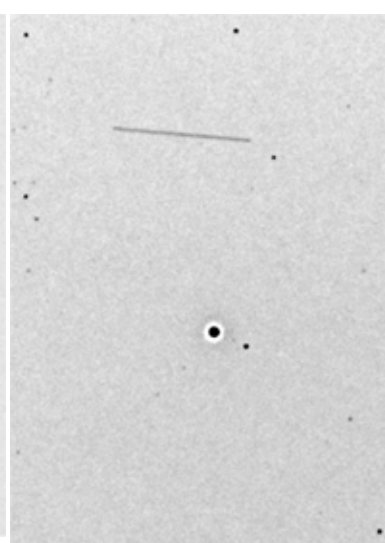
露出 60s



2011年10月19日

22h15m45s

露出 30s



2011年11月7日

22h33m5s

露出 30s

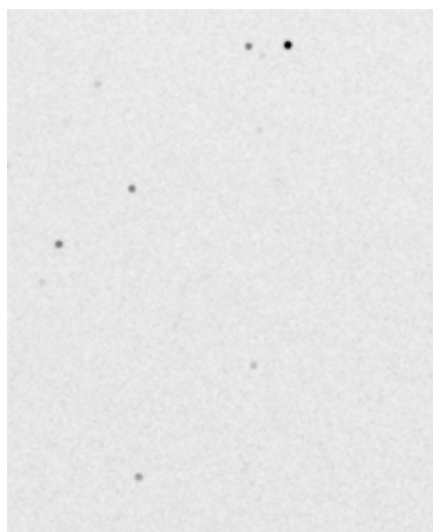
R Cet 観測写真（上が南）



2011年9月7日

23h6m55s

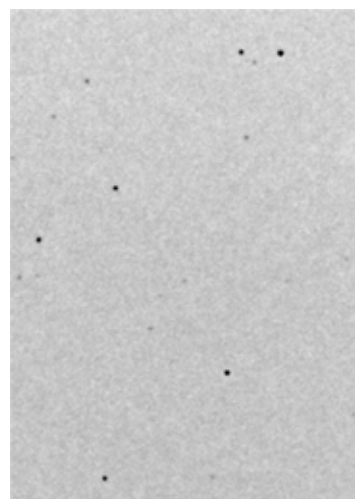
露出 60s



2011年10月19日

22h14m35s

露出 30s



2011年11月7日

22h31m20s

露出 30s

Cet は次第に減光しているのが分かります。ただ、他の変光星よりも遙かに明るいいため、今の撮影システムでは視野があまり広くなく、明るい比較星が入らないことが難点です。極小あたりになるとちょうど良い被写体になると思います。

R Cet は逆に増光している過程であるのが分かります。

